

先日、ある TV を見ていました。

高校生のお話でした。ある高校の「福祉科」、の学生が、実際のところ、卒業後の進路で、施設への就職希望者はわずか数名だった。

この現実をただ、淡々と描いている、ジャッジをしていないのです。ただ、事実のみです。

実際、福祉の世界は、甘いものではないのですが、一番必要な分野でもあり、若手も必要なのです。そして、「なにか、よい、イメージ」で、宣伝している高校はいくらでもあるでしょうし、できれば、沢山担い手も欲しいでしょう。でも、離職率が高いのも福祉現場の実情でもある。だけど、そういうなにかしらの「問題提起」というものが感じられず、「ある風景」でまとめている。

でも、逆に、そのことで、「福祉現場のかかえる多角的な問題や、高校生の本音等、」が、浮き彫りになっていて、誰が見ても、「考えさせる」内容になっていました。

個人的な見解になってしまいますが、「高卒」に「介護現場」をまかせようとするのは無理だと、思います。「大卒」でも、なにか危ういと思うのです。

相手は、認知症とはいえ、人生の大先輩です。成熟したおとな、をへて、老いた状態です。

高校生、未成年です。子供が、現場をささえられるでしょうか？

なんでも、ラインやメールしかしない、「敬語」なにそれ？という子供が本当に利用者さんをケアできるのでしょうか？利用者さんは、メール、できない世代なのです。

人格的にある程度できていないと、無理だと思います。それも、家族ができないから、施設にお願いする現場です。

「こんなにしんどいおもいをしてお世話しているのにお金がすくないのでわりにあわない」これが本音です。「お金」しか頭にないのです。予想外だから、やめる。結局、高校で「福祉現場の実情も伝えず、反面、やりがいや魅力も伝えていない」と感じました。

全てがそういう高校でないと思いたいのですが、人材育成をしていないので、結局は福祉に向いているかもしれない「可能性」まで、つぶしているような気がします。もし、「お世話しているのに、お金がすくない」という学生には私が、教師で、そういう生徒がいたら、こう話します。

ゆっくり、優しく。ユーモアも交えます。

おせわは誰でもできることです。だから給料は少なくても当たり前でしょう？

あなたは、何の経験もつんでないのだから。専門的な、看護師のような、実戦もまだない。高卒だから、それしか、まかせられません。

子供は「お世話か、話し相手」しかできない。それでも、お金がもらえるのよ。かんがえてごらん、他の人は、沢山勉強して、専門的なものもいつも勉強して、最初の給料はよくても、景気がわるければ、そくリストラよ。景気だけで、すぐに首よ。

福祉の現場は、お世話ということだけで、お金がもらえるのよ。景気にもあまり左右されないの。

辛いのはわかる。しんどいよね。たしかに現場はつらいよね。実習大変だったよね。
でも、一生懸命努力すると、褒めてもらえるし、認めてもらえるし、花嫁さんにしたいって評判も、あがるわよ。

だって、気配りも自然にみにつくし、へましても、利用者さんは忘れてくれるよね？（認知症だから）

誰だって、少子化で、認知症になるかもしれない親をいつかは面倒見ることになるから、そのときは、楽だとおもうな。あとで楽になれるって、いいなと思うよ。

今は、わりにあわないって、思うかもしれないけど、その経験が、本当の魅力的な大人にさせてくれるのよ。

辛さがわかると、優しい人になれる。そうさせてくれるのが福祉の世界の現場です。

お金だけではない、仕事には「やりがい」が必要な。

かんたんには「仕事をする原動力」ということよ。

どんなに辛くても、仕事ができる、いわば「ガソリン」ということです。そのガソリンを、利用者さん、お年寄りが、沢山、くれるのよ。

本当に一生懸命してごらん。

「ああ、はなしきいてくれて、いい子だね。ありがとう。涙がでるよ。うれしい、話をきいてもらえただけで救われるよ」

嬉しくない？こういわれると。ただ、話をきくだけで、「ガソリン」をもらえる世界はある？

そういわれる職場は、業種は、少ないと思うけどね。

はなしをきく？あたりまえ。ガソリンの価値はない。の世界が、他の業界の現実なのも知っておくべきです。

さあ、よーく考えて、良さも少しは知ったうえで、進路を決めましょう。

私は、若い友人が沢山います。色々な業界にいます。みな、なぜか、私を頼るのです

親も、先生もいるはずなのに、苦しいとき、寄ってくる子が多いのには戸惑います。

いつもは、好き勝手しています。こちら忙しいのだけど、遠くでしっかりみて、はいます。大人の私を友人として慕ってくれる以上、責任も多少あるので。（親御さんは遠方）

若い人の共通点として、教え方ですが、恥をかかせたり、責めたりはいけないと思います。

いたらないところはひそかにそっと、教えてあげようとするとうまくいくか、をナビしていくということを優しく、うまく、伝えると、素直な感受性で、吸収して、本当に伸びてゆくことを、実感します。

あすかさんの話だけは素直に入るんです、といわれることは嬉しく思います。が。若い人はただ、よく、わからないだけです。わからないから、迷うだけです。

わからないなら、わかるように、適切につたえないといけない。いたらないのは、こどもではなく、ちゃんとナビできない大人が悪い。

教える責任がある、おとな、親、教師、が、悪いのではないのでしょうか。

手間をかけないのです。ただ、詰め込む。知識だけ、だーっと。あとは卒業して、「就職」してね。それだけ。「就職」さえしてくれれば、後は知らない。手間をかけると、素質がある子は、かならずいるのですから、本当のプロに、自然と育つものです。どんな業界もそうです。

経験から話しております。(20代~30代後半までの若い友人多数)理想論ではないことは、多少でいいので、ご理解いただければ幸いです。

高校で、大学で、伝えるべきことは、「知識」より「人生について深く考える機会を与える」ことではないか、と思います。なぜなら自由になる時間は学生の時しかないからです。卒業してからは、もう余裕もない大変な大人の世界なのですから。

ひととして、どうあるべきか？本当に大切なことは、「お金をもらうこと」だけなのか？

本当は家庭で教わることでしょうが、福祉科なら、なおさら、「人格を磨く」ことに重きをおくことです。本当に大切なことはなにか。をきちんと伝えていくことです。

知識はあまりいらないとおもいます。いくらでも、いつでも学べます。「福祉科」をかかげる高校なら、ほんとうの「プロのたまご」を育てないと責任放棄だと思います。だって、お金をいただいているのです。それで食べていくのは、先生たちです。

以上、雑感になりましたが、若い人もよさがあるので、可能性をつむことだけはしてはならないと、日々感じています。